

## 「わが校の魅力、啓成中学校」

2/25,26の伊万里ケーブルテレビの55いまりの「わが校の魅力」で啓成中学校版が放映されました。



この「わが校の魅力」は、市内全小中学校の魅力ある教育活動を市内全域に知ってもらい、地域の教育力や教育活動への協力・支援を考える機会としてもらうために、伊万里ケーブルテレビの協力で作成・放映しているものです。

啓成中学校の特徴である「生徒」が前面に出たVTRのつくりになっており、出演の生徒もすっかりとした物の言いようで、私もすごいなあ！ちゃんとした受け答えだなあ！と感心させられました。

内容をここで書いてしまいますと……。ぜひ、次の放映をご覧ください。55いまりでの放映は終わっていますが、

2/28・29の10:10、13:10、16:10、19:10、2/30の13:00、17:00、21:00、23:00の「週間ほっとアイ」で放映されます。

## 先生たちに、こんな話をしました！

教師の声かけは「子どもを勇気づけ、もてる力を引き出す」！ものです。誰かにほめられることは、うれしいもの。ほめ言葉は、他人からの承認であり、子どもの心に希望の光をともします。すべての言葉かけは、最終的にほめ言葉につながるものです。子どもたちにしっかりと、ほめ言葉の声かけをたくさんしましょう。

ほめることで、子どもは育ちます。ほめる生活は、教師のあり方の基本と言っても過言ではありません。気恥ずかしくても、教室では「ほめモード」

を全開にしましょう。

自分のほめモードを全開にするためには、朝起きてから子どもと出会うまでの時間が大切になります。この間に、モードを切り替えられるようにしたいものです。教室に向かう



までの間、廊下で出会う子どもたちを次々にほめて歩きます。

「おっ、傘をきちんとたたんでいるねえ」

「髪、切った？さっぱりしてるね！」

「朝からあいさつが気持ちいいなあ！」

「身なりがきちんとしているなあ、さすが！」

こうして、ほめ言葉のウォーミングアップをしておくことで、教室で子どもと出会ったときに、次々とほめ言葉が口をついて出てくることでしょう。

このような話を、職員会議で先生方に話しました。

私にも、小学校3年生の子どもがいます。親もこのことは一緒かなあとと思います。朝起きて、子どもに、「ああしなさい」「早ようせんね！」と言ってしまふ気持ちもよくわかります。でも、言われた方の子どもたちは、やっぱり、いい気持ちにはならないでしょう。優しいほめ言葉をかけることが、子どもを勇気づけ、子どもの持っている力を最大限に引き出すことは間違いないでしょう。教師も親もすべての大人が、このことを胸にしっかりと、「ほめちぎり」しましょう！

## 十分に気を付けましょう！みんなのために

今、新型のコロナウイルスの感染拡大で続々と、イベントやスポーツ大会が中止や順延になっています。来週は3年生にとって、大変大切な県立高校一般入試と卒業式があります。

北海道では、道内の多くの公立小中学校が27日から1週間の休校になり、教育現場にも大きな影響を及ぼしています。

感染が確認されていない県でも、いつ感染者が出てもおかしくない状況です。正しい情報をしっかり見極め、感染しないようにしましょう。

それと、感染してしまった人を誹謗中傷したり、差別したりする行為は、絶対にしないようにしましょう。感染された人も感染したくて感染したのでは決していないし、むしろ心配してあげなければならないと思います。共に生きる今だから、共助の心を持ちましょう。

NHKのニュースで、感染症対策に詳しい東

北医科薬科大学のグループが「感染予防ハンドブック」を公開したとありました。右のQRコードから見る事ができます。参考に見てください。



「家庭でできる予防対策」ハンドブック  
(東北医科歯科大)